

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

臨床検査学分野

医療福祉学研究科
保健医療学専攻

■修士課程

- ・先端医学検査コース
- ・細胞検査士養成コース

■博士課程

- ・先端医学検査コース



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ごあいさつ

臨床検査は科学技術の飛躍的發展に伴い、ますます高度化、先鋭化し、多くの疾患に対して先進的な臨床検査技術が導入されています。臨床検査学分野の修士・博士課程では、人々の健康を守り、より安全で質の高い医療を実現するために、臨床検査学講義・演習を通じ、現状の検査知識および技術を学ぶと共に、次世代に必要とされる検査法や機器・試薬の開発など、多方面からの研究を行なうことで研究的思考を兼ね備えた人材の育成を目指しております。従いまして、学位名称も臨床検査学領域に特化した“臨床検査学修士・博士”と致しました。

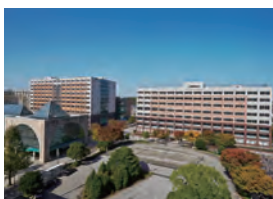
さらに、キャンパス間やグループ病院などと連携し、最先端の臨床検査学における臨床的・基礎的な研究に取り組むための整備、大学院の教育理念をふまえた体制により、社会人でも安心して学べる環境になっています。

修士課程では、“先端医学検査コース”と“細胞検査士養成コース（2022 年度より成田キャンパスにも開講）”の2 コースを成田と大川キャンパスに設置しています。

成田キャンパス

細胞検査士養成コースを新設！

成田キャンパスにも臨床検査学領域先端医学検査コース（修士・博士）に加え、2022 年より細胞検査士養成コース（修士）を新設しました。臨床検査学・医学の知識・技術や科学的方法論に基づく高度で国際的視野に立脚した教育研究を実践し、臨床検査（医）学領域の確立と発展にグローバルに貢献できる人材の育成をめざします。また、大学院担当教員の課題研究以外でも可能な限り柔軟に対応しますので、気軽にお問合せください。社会人の方も多く在籍し、社会に開かれた教育カリキュラムになっています。幅広い領域・分野で活躍でき未来を託せる人材育成を心がけて教育研究指導しています。



研究室のカンファレンス風景

教員・大学院生と週に2回カンファレンス（論文抄読会と研究内容報告会）を実施しています。海外の最新研究・知識の紹介や各自の研究内容に関するディスカッションを定期的に行い親身な研究指導を実施しています。また、外部の先生の講演もいただき幅広い知識が修得できる環境を整備しています。



大川キャンパス

臨床検査スキルを支援！

大川キャンパスには臨床検査学領域先端医学検査コース（修士・博士）と細胞診検査を目指す細胞検査士養成コース（修士）があります。共に臨床経験の豊富な教員が臨床検査学の知識や技術、高度な科学論法に基づく教育を実践しながら臨床検査に貢献できる人材の育成に努めます。

学位修得の道が開かれた！

4 年生大学卒業以外でも臨床検査技師の資格を有する方であれば臨床検査学分野の学位（修士・博士）を修得することができます。指導教員は可能な限り社会人の方でも自施設で専門とする検査領域でのキャリアアップを支援するため丁寧・熱心に指導いたします。



高木病院内 臨床微生物・遺伝子検査研究センター

担当教員紹介・研究課題一覧

キャンパス	教員	研究課題
成田	長沢 光章 教授	● Lamp 法による迅速薬剤耐性菌検出に関する研究 ● サーベイランスにおける疫学解析の研究 ● 質量分析を用いた迅速同定、感受性検査に関する研究
	竹内 啓晃 教授	● 感染症（主にヘリコバクターピロリ関連疾患）の病態解析 ● トランスレーショナル医学研究（ベンチワーク～生体効果） ● 海洋資源の利活用（シース探索～感染制御）
	清宮 正徳 教授	● 臨床化学・免疫学分野における異常反応の研究 ● 臨床化学・免疫学分野における検査値保証の研究 ● 高感度測定法の開発 ● 新規腫瘍マーカーの開発
大川	永沢 善三 教授	● 薬剤耐性菌の迅速検出法とメカニズム解析 ● Microwave を利用した迅速染色法の研究 ● 質量分析での迅速同定法と疫学解析への応用 ● 抗菌薬の微生物に対する抗菌活性の比較研究
	梅村 創 教授	● 疾患バイオマーカーとしての microRNA 研究 ● 貧血疾患の遺伝子に関する研究
	廣岡 良隆 教授	● 高血圧 ● 心不全 ● 神経体液性因子による循環調節
	小荒田 秀一 教授	● 難治性自己免疫疾患に対する RP105 陰性形質芽 B 細胞を標的とした新規治療法の開発 ● 関節エコーによる膠原病・リウマチ性疾患の評価と予後予測を目的とした解析 ● 膠原病リウマチ系疾患の調査・画像解析による総合的診断法の樹立

キャンパス	教員	研究課題
大川	太田 昭一郎 教授	● 免疫細胞の接着機構の研究 ● 機能的モノクローナル抗体の開発 ● 炎症・アレルギー疾患におけるバイオマーカーの研究
	佐藤 謙一 准教授	● 赤外スペクトル解析法による血中成分測定 ● ゲノム医療における臨床検査に適した遺伝子解析法の開発 ● 新興感染症におけるバイオマーカーとしての少分子 RNA 発現変動に関する研究 ● ポストコロナ期の PCR 機器有効活用に関する研究
	矢口 貴博 准教授	● Development of anti-dementia drug against neurodegenerative diseases such as Alzheimer disease ● Role of ATP released from astrocyte cells during ischemia ● Analysis of PDGF-D-induced cell migration mechanism in malignant mesothelioma cells ● Role of ABCG2 transporter on malignancy of endometrial cancer cells ● Role of progesterone receptor on malignancy of endometrial cancer cells

2025 年 7 月現在

各キャンパスの教育内容に関するご相談は
太字の教員までお問い合わせください。

在学生・修了生の声



磯部 厚志 さん 成田キャンパス：2021 年 博士課程修了、大学院長賞受賞、現職：テルモ株式会社 技術統括室

私は、研究を行う力を養い、臨床検査学や社会に役立つ新しい知見を発表できる人材となるべく、大学院に進学しました。大学院で学ぶことにより、課題やその解決策を自らで考える力が身に付き、成長に繋がったと感じています。現職においても、誰もが遭遇したことのない新たな課題に直面しますが、大学院で学んだ自らで考える力が活かされています。



谷島 実希 さん 成田キャンパス：2022 年 修士課程修了、現職：HIROTSU バイオサイエンス

学部卒業後、再生医療分野に繋がる研究に携わりたいと考え大学院に進学しました。私は大学院から染色体・遺伝子研究室に所属したため、その分野での研究に関しては初心者でありましたが、指導教官とゼミメンバーに実験器具の使い方、PCR 法等の解析方法など懇切丁寧に指導していただくことで、充実した学生生活を送ることができました。本院の魅力は先生たちと随時細かい相談をすることができ、他分野の先生方からもアドバイスをいただけることだと思います。



横山 翼 さん 大川キャンパス：2022 年 修士課程修了、博士課程在学、現職：ベックマン・コールター株式会社

私は医療機器メーカーの学術として働いており、仕事の担当分野についてより知識を深めたいと考え大学院へ進学しました。入学当初は仕事との両立や研究がうまく行かぬなどの不安がありましたが、先生方の温かいご指導により修士号を修了することが出来ました。研究を通じて得た知識で顧客とより深い話ができるようになるなど仕事にも大変役立ち、日々自身の成長を感じられた充実感のある 2 年間でした

カリキュラム

修士課程

● 先端医学検査コース

履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
共通科目	2 単位	12 単位以上	「研究倫理特論」(2 単位) 必修
専門科目	16 単位		「臨床検査学講義 (修士)Ⅰ・Ⅱ」(各 2 単位) 「臨床検査学演習 (修士)Ⅰ・Ⅱ」(各 2 単位) 「臨床検査学研究指導 (修士)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」(各 2 単位) 計 16 単位必修
小計	18 単位		12 単位以上
合計	30 単位以上		

※選択科目は、修士課程共通科目、この専攻分野コース以外の科目で履修制限のないもの、分野専門科目(履修制限のないもの)の中から選択して履修できる。

修了要件

上記 30 単位以上修得し、必要な研究指導を受け、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

● 細胞検査士養成コース

履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
共通科目	2 単位	12 単位以上	「研究倫理特論」(2 単位) 必修
専門科目	16 単位		「臨床検査学講義 (修士) I・II」(各 2 単位) 「臨床検査学演習 (修士) I」(2 単位) 「細胞診断検査学特論 I・II」(各 2 単位) 「細胞診断検査学実習 I・II」(各 1 単位) 「細胞診断検査学課題研究 I・II」(各 2 単位) 計 16 単位必修
小計	18 単位	12 単位以上	
合計	30 単位以上		

※選択科目は、修士課程共通科目、この専攻分野コース以外の科目で履修制限のないもの、分野専門科目(履修制限のないもの)の中から選択して履修できる。

修了要件

上記 30 単位以上修得し、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

博士課程

● 先端医学検査コース

履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
共通科目	2 単位	－	「研究倫理特論」(2 単位) 必修
専門科目	10 単位		「臨床検査学講義 (博士)」(2 単位) 「臨床検査学演習 (博士)」(2 単位) 「臨床検査学研究指導 (博士)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(2 単位) 計 10 単位必修
小計	12 単位		－
合計	12 単位以上		

※選択科目は、博士・修士課程共通科目、この専攻分野の博士課程の専門科目で履修制限のないもの、この専攻分野以外の博士課程の専門科目で履修制限のないもの、の中から選択して履修できる。

修了要件

上記 12 単位以上修得し、必要な研究指導を受け、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

